



きじま平

夏休みの思い出

7月25日、村育成会主催の地域体験活動が行われ、参加した子どもたちは樽川での水遊びや虫取りなどを楽しみました。



8

令和3年

主な内容

☆広報きじま平	2～15・30
☆議会だより	16～23
☆館報生き生き木島平	24～27
☆社協だより	28～29

広報

きじま平

No.574
令和3年



特 集

9月1日は防災の日です

発行：木島平村
編集：広報編集委員会



大地震が発生！

～その時、あなたはどうしますか～

村ぐるみ防災訓練 中止のお知らせ

8月29日(日)に予定をしていました村ぐるみ防災訓練は8月2日に北信圏域の新型コロナウイルスの感染警戒レベルが4に引き上げられたことから中止といたします。

広報に同封の避難行動マニュアルにより、それぞれのご家庭で災害時の避難行動を確認し、災害に備えましょう。



9月1日は 防災の日です

大正12年9月1日、関東大震災が発生しました。その大惨事を忘れないため、また、この時期は台風の被害が多いことから、9月1日が防災の日と定められました。

災害時、まずは、自分の身は自分で守ることが一番重要です。そのためには、事前の備えが必要です。緊急避難グッズや非常食を準備したり、家族で安否確認の方法や集合場所など話し合っておきましょう。大きな災害が発生した時は、隣近所や地域などで連携し、お互いが協力した防災活動が非常に重要となります。村では「自主防災組織」の体制整備を進めています。自主防災の取組は「地区の役員がやるもの」ではなく、地域に住む一人ひとりが協力して、そこに住む全員が関わりを持つことが必要です。自身の災害時の行動確認と合わせて地域の防災体制の確認をお願いします。

【総務係 内線106】

非常持出品 リスト



【携行品】

- ☐携帯電話・充電器
- ☐懐中電灯・ラジオ・予備電池
- ☐現金・貴重品
(通帳・はんこ・健康保険証など)
- ☐タオル
- ☐汗ふきシート
- ☐救急用品
(ばんそうこう・包帯・常備薬など)
- ☐飲料水・食料(おやつなど)

【服装】

- ☐動きやすい作業がしやすい服装
- ☐スニーカーや長靴
- ☐防寒着
- ☐ヘルメット
- ☐防災ずきん
- ☐マスク
- ☐軍手

【避難所用品】

- ☐着替え
- ☐毛布
- ☐生理用品(おむつなど)

さらに安心！

あると便利な携行品

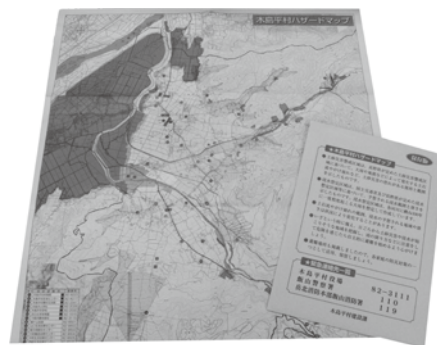
- ☐スプーン・箸
- ☐洗面用具
- ☐ウェットティッシュ
- ☐筆記用具
- ☐コンタクトレンズ・眼鏡
- ☐使い捨てカイロ・瞬間冷却剤
- ☐アイマスク・耳栓
- ☐化粧品
- ☐粉ミルクや離乳食(赤ちゃん)
- ☐入歯洗浄剤(高齢者)

各ご家庭で災害時の事前チェックを

地震は突発的に発生する災害で、予測ができない分、普段からの心構えと備えが非常に重要になります。

また、近年全国各地で発生している土砂災害や浸水・洪水災害にも十分注意が必要です。これらの災害は地震と異なり、前兆となる現象や指定河川の基準水位によって、ある程度の避難準備ができます。村のハザードマップに、土砂災害警戒区域や浸水想定区域が掲載されていますので、ご自宅が危険区域にあるかどうか必ずご確認をお願いします。地震以外にも、危険区域にお住まいの方は、大雨時など「どのタイミングで」「どんな方法で」「どこへ」避難するか避難時の行動を整理しておきましょう。

※ハザードマップをお持ちでない方は役場窓口で配布しておりますのでお声かけください。



災害用伝言ダイヤル「171」を活用しましょう

災害用伝言ダイヤルは大規模な地震や風水害などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される録音伝言サービスです。

地震のときに有効なシェイクアウト訓練

この訓練は、参加者が同じ時間に、家庭や職場などその時にいる場所で、一斉に身を守るための行動をとる訓練です。いざという時に備えておきましょう。



①その場でしゃがみ、姿勢を低くして(ドロップ)



②机の下などに潜り、頭を守り(カバー)



③揺れが収まるまで1分間程度待つ(ホールドオン)

出典：効果的な防災訓練と防災啓発(シェイクアウト)提唱会議

新しい農業委員と

農地利用最適化推進委員が選任されました

任期満了に伴う農業委員と農地利用最適化推進委員（以下、推進委員）の改選が行われ、新たな農業委員 10 人と推進委員 8 人が選任されました。

任期は、農業委員、推進委員ともに令和 3 年 7 月 20 日から令和 6 年 7 月 19 日までの 3 年間です。

7 月 28 日に農業委員会臨時総会が開かれ、会長に梅寄委員、会長職務代理に小松委員が選出されました。

【農林係 内線 1 3 3】

農業委員 ■敬称略



会長
梅寄行弘(南鴨)



会長職務代理
小松裕一(中町)



竹内芳次郎(内山)



山口眞廣(中島)



土屋晴茂(栄町)



仲山ひろみ(中町)



浦山秀紀 (庚)



石川和也(西町)



岡田ひろみ(和栗)



小池雅章(南鴨)

農地利用最適化推進委員 ■敬称略



片所恵蔵(北鴨)



高木茂実(中村)



竹内雅章(千石)



岩井明夫(西小路)



湯本正美(市之割)



高橋由次(大町)



勝山 正(糠千)



関 達夫(西町)



農業委員会臨時総会の様子

低所得の子育て世帯に対する 特別給付金の給付要件について

国の「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」について、児童手当と特別児童扶養手当を受給していない15～18歳のお子さんのみ養育されている世帯または公務員の方については、村で対象者の把握ができません。

次の要件に当てはまる方は、対象となる可能性がありますので、子育て支援係までご連絡ください。

●該当要件

①令和3年4月分の児童手当を受けた公務員の方で、市町村民税均等割が非課税の方。

②平成15年4月2日～平成18年4月1日に生まれた児童のみを養育している世帯で次のどちらかに当てはまる方。

○養育者のうち、主たる生計維持者が令和3年度市町村民税均等割が非課税である。

○新型コロナウイルスの影響を受けて令和3年1月以降の家計が急変し、前項と同様の事情にあると認められる。

不明な点は、子育て支援係までお問い合わせください。

【子育て支援係 内線162】

ねんきんネット

年金記録が確認できます

「ねんきんネット」は、パソコンやスマートフォンでインターネットを通じてご自身の年金の情報を手軽に確認できるサービスです。日本年金機構のウェブサイトで確認できますので、ぜひご利用ください。

●確認できること

- ・ご自身の年金記録の確認
- ・将来の年金見込額の確認
- ・電子版「ねんきん定期便」の閲覧
- ・日本年金機構からの各種通知書など

【生活環境係 内線121】

マイナンバーカードの

発行はお済みですか

村では、マイナンバーカードに必要となる顔写真の無料撮影など平日に申請のサポートを行っておりま。また、平日に役場に来ることが難しい方には、時間外予約窓口（予約が必要です）を開設していますので、ぜひご利用ください。

●時間外予約窓口開設日時

8月14日（土）、15日（日）
9月11日（土）、12日（日）

※時間はいずれも午前9時～正午

【生活環境係 内線122】

既存住宅エネルギー自立化 補助金のお知らせ

長野県では、県民の皆様が行う太陽光発電設備と蓄電池の設置を応援しています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

●対象となる要件

ご自宅の既存住宅に「信州の屋根ソーラー認定事業者」による販売および施工であること

●対象となる設置工事

太陽光発電設備と蓄電池を同時に設置または蓄電池のみを設置

※太陽光発電設備は10kW未満のもの、蓄電池は4kW以上のもものが対象です

●補助金額

1戸当たり20万円（蓄電池の設置のみの場合15万円）

※グループ・パワー・チョイス（共同購入事業との併用はできません）

●問合せ・申込み先

北信地域振興局環境課

電話0269（23）0202

●ウェブサイト

<https://www.pref.nagano.lg.jp/zerocarbon/jitsush.html>



【政策情報係 内線115】

馬曲温泉いきいきデー運行日程

馬曲温泉いきいきデーの運行日程（8月24日（火）～9月17日（金））をお知らせします。

●8月

○24日（火）南鴨・高石・庚・市之割・西小路・中島・部谷沢・原大沢・千石・上千石・平沢・馬曲

○27日（金）糠千・山口・柳久保・大町・中町・西町・池の平・スキー場

○31日（火）中村・小見・和栗・稲荷・北鴨・内山・栄町

●9月

○7日（火）糠千・山口・柳久保・大町・中町・西町・池の平・スキー場

○10日（金）中村・小見・和栗・稲荷・北鴨・内山・栄町

○14日（火）南鴨・高石・庚・市之割・西小路・中島・部谷沢・原大沢・千石・上千石・平沢・馬曲

○17日（金）糠千・山口・柳久保・大町・中町・西町・池の平・スキー場

※各地区の乗車場所、午前10時までに集合ください（スキー場地区は9時45分）。

※池の平地区の皆さんは、ご利用の際に、当日午前9時までに馬曲温泉までご連絡ください。

【健康福祉係 内線124】



除雪オペレーター 募 集

冬期間の村内道路の安全確保等のため、
除雪作業をしていただくオペレーターを募
集します。

募 集 内 容

●募集人員

- ・会計年度任用職員5人程度
- ・受託オペレーター11人程度

●募集期間

8月16日(月)～9月15日(水)まで

●作業内容

- ・村道の冬期除雪準備
- ・村道除雪
- ・排雪作業 ほか

●雇用期間

12月1日(水)～令和4年3月31日(木)

●応募資格及び条件

大型特殊免許及び車両系建設機械の
技能講習を終了している方もしくは令
和3年11月19日(金)までに取得が可能
な方

●提出書類

- ・申込書
- ・運転免許証の写し
- ・車両系建設機械の技能講習修了証の
写し

●募集案内・申込書の配付

建設課農村整備係(村公式ウェブサ
イトからもダウンロードできます)

【農村整備係 内線151】

一足早く❄️❄️❄️冬に備えた補助金を紹介します

ペレットストーブ購入補助金

間伐材の有効活用につながる長野
県産の木材等の利用を促進するた
め、ペレットストーブを購入する方
に補助金を交付します。

●補助の条件

- 木島平村に住民登録していること
- 県内に事業所または代理店を有す
る者から購入するものであること
- 長野県産材のペレット燃料を使用
すること ほか

●補助上限額

1台につき10万円

●申込期限

令和3年11月30日(火)

※予定数に達し次第、締め切らせて
いただきます。



【農林係 内線132】

こくせつ 克雪住宅普及促進事業補助金

雪下ろしによる労力及び経済的負
担の軽減と危険防止を図るため、住
宅を克雪化する工事の工事費の一部
を補助します。

●融雪型

住宅屋根に融雪パイプ等融雪効果
のある施設を設置する。

○補助率 対象工事費の2割

○補助上限額 60万円

●自然落雪型

住宅屋根の雪が自然に落ちる屋根
に改修する。

○補助率 対象工事費の2割

○補助上限額 45万円

●雪下ろし型

屋根に命綱固定アンカー又は親綱
を設置する。(物置含む)

○補助率 対象工事費の5割

○補助上限額 8万円

※融雪型及び自然落雪型では、高齢
者世帯などの場合に補助率・限度
額がかさ上げとなる場合があります。
ですので、別途ご相談ください。

【農村整備係 内線151】

くらしと健康の相談会

●弁護士との無料相談ができます

失業・倒産・多重債務・家庭問題等について弁護士が無料で相談に応じます。あわせて保健師による無料の健康相談を行います。

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止の場合があります。

●日にち 9月2、9、16、30日（いずれも木曜日）

●時間（予約制）

○1回目 午後2時～3時

○2回目 午後3時～4時

●場所 北信保健福祉事務所

（飯山市大字静岡1340-1

県飯山庁舎）

●予約方法

相談希望日の前週金曜日の正午までに電話してください。

●予約先

北信保健福祉事務所健康づくり支援課

電話0269（62）6104



【健康福祉係 内線124】

9月10日～16日は

自殺予防週間です

自殺する原因には、心身の健康に関わる問題だけではなく、過労、生活苦、育児や介護疲れ、いじめや孤立などの社会的要因があることが知られています。そして、様々な問題が複雑に絡み合って生じています。

自殺の多くは周りの人が気づき、支援の手を差し伸べることで防ぐことができます。大切な人が悩みを抱えていることに気づいたら、声をかけてみてください。悩みをうちあけてくれたら、本人の気持ちを尊重し、じっくり話をきいて、相談窓口を紹介してください。そして寄り添い、あたたかく見守ってあげてください。みんなで取り組み、いのちを支え、自殺のない地域にしていきましょう。

●村相談窓口

○健康相談・介護相談（月1回午前9時～11時、保健センター、健康福祉係）

○心配ごと相談（毎月第1水曜日9時～12時※11月は第2水曜日、保健センターリハビリ室、木島平村社会福祉協議会）

※このほか、随時保健師が相談に乗ります。お気軽にご相談ください。

【健康福祉係 内線126】

シリーズ コミスク⑤

ふるさと木島平を担う子どもたちを地域総ぐるみで育てよう！

7月15日、第二回学校運営協議会が開催され、活動内容について話し合いが行われました。

「第10回コミュニティ・スクール研修会in木島平」の実施について

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、半日開催にすることに決定しました。また、当日は子どもたちや地域の方々の参加は避け、事前収録した木島平小学校・下高井農林高等学校・地域コミュニティによる取り組みの発表と、村長が参加するパネルディスカッションの二部構成で進めることになりました。当日の様子は、ふう太ネットで放映されますので、ぜひご覧ください。

小学四年生の

宿泊体験学習の中止について

9月10・11日（金・土）の1泊2日の日程で計画していましたが、中止することに決定しました。学校を通じて保護者の皆様へ連絡いたします。

学校活動支援部、

地域活動推進部の活動について

しめ縄づくりなど今の親世代では分からない技術や知識の伝承、地域が子どもたちに教えたこと、子どもたちが地域から学びたいことなどの橋渡しを協議会としてやっていきたいとの意見が出ました。

育成会では、子どもたちに少し危険なことや怖さも伝えたいという意見、子どももカフェでは若い世代や男性の参加が少ないという意見、子どもたちが将来帰ってきたいと思える地域づくりをしたいなどの意見が出され、活発な意見交換が予定時間を超えて交わされました。

※保育園・小中学校の教育活動への協力、ボランティア活動等に興味のある方は、子育て支援係までご連絡ください。



【子育て支援係 内線161】

子どもたちに事実を伝えることの大切さ

多くの犠牲者を出した満蒙^{まんもう}開拓に寄せて

木島平村人権推進室 山屋 秀夫^{ひでお}

農村交流館
☎ 0269(82)2041

に恵まれました。
また、今年は木
島平中学校の3
年生の平和学習
に参加させてい
ただき、来村い

昭和7年の満州国建国直後から昭和20年の敗戦までの14年間に、日本全国から約27万人もの人たちが満蒙開拓団として旧満州に渡りました。農業移民であると同時に旧満州の防衛等の役目も持たされて、国策として強力に進められました。そして、長野県からは全国最多の約3万3千人が送り出されました。木島平村からも248人が旧満州に渡り、多くの犠牲者を出しています。

こと、ソ連軍による酷い日本人の集団処刑の場面を見た時のことなどを、深い悲しみと共に涙ながらに語っていただきました。

その後、昨年は阿智村にある「満蒙開拓平和記念館」を訪れる機会

いただいた館長さんからお話を聴く機会に恵まれ、改めて満蒙開拓について学ぶ機会をいただきました。次の言葉や指摘が強く心に残りました。

抗感があつたため

20年前、同和教育推進教員として木島平村雪ん子解放子ども会を担当していた時、開拓団の一員として旧満州に行かれた経験のある高山すみ子さん（故人）にお出でいただき、ご自身の体験を中学生会員の子どもたちに語っていただいたことがありました。

耳を疑うような悲惨な事実をお聴きしたことを今でもはっきりと覚えています。自らの手をくだして最愛のわが子の命を奪わなければならなかったこと、多くの仲間が先を争うように亡くなっていった集団自決の

こと、ソ連軍による酷い日本人の集団処刑の場面を見た時のことなどを、深い悲しみと共に涙ながらに語っていただきました。



平成12年5月25日 木島平村雪ん子解放子ども会の解放学習に高山すみ子さんを招き、中学生会員に旧満州での体験を語っていただいたときの様子

- 1 「歴史を直視し、歴史から学ぶ」という姿勢を持ち続けることが大切である。「満蒙開拓とはいったい何だったのか?」「なぜ、このような悲惨なことが起きてしまったのか?」「なぜ国策として進められたのか?」等の視点から満蒙開拓を振り返り、考えることが、2度と過ち^{あやま}を繰り返さないことにつながる。
- 2 「戦争」や「歴史」について学ぶとき、「他人事」ではなく「自分事」として考えてみる姿勢で臨むことが大切である。
- 3 なぜ、長野県には満蒙開拓団の悲惨な事実を知らない人が多いのかあまりにも悲惨な事実や体験であつたので、地域の歴史のタブーとされたため

- 4 事実を先に知った者の社会的責任は、それを次の人に伝えることである。あるアジア青年の言葉として紹介された「日本人は信用できない。それは、かつて侵略したからではなく、今の日本人がかつての歴史を知らうとしないから」という言葉が忘れられませんでした。
- 5 本質を見抜く目を持ち、信念を持って国策に反対した^{たづな}天下条村^{おおしもじょう}の佐々木忠綱村長のような人がいた。また、戦後、開拓団の人たちが帰国するためにGHQに直訴する等、命がけで活動した飯山市富倉出身の丸山邦雄^{くにお}さんのような人がいたことを覚えておきたい。かつて何があつたのかを知り、子どもたちに伝えていくことは、今を担う私たち大人の責任であるということ強く感じました。



満蒙開拓平和記念館長の寺沢秀文さんの話を聞く中学生

「ふるさと応援団木島平会」 会員募集

【政策情報係 内線115】

ふるさと応援団木島平会は、木島平村出身者と木島平村を応援していただける方で組織されており、現在の会員数は約200名です。ふるさと木島平村の応援を目的に、平成14年に発足し、日頃から木島平村を想いながらPR活動などを行っています。また、村と連携しながら会員同士の交流と親睦を深めているほか、毎年総会や新年会等を開催し、関係者との交流も行っています。

年会費や、会員特典は次のとおりです。ご家族やご親戚、お知り合いの方にご紹介いただき、入会を希望される場合は、総務課政策情報係までご連絡ください。

年会費 2,000円

【会員特典】

- ①やまびこの丘公園・にこにこファーム（入園無料）
- ②馬曲温泉望郷の湯（入浴料大人100円引）
- ③パノラマランド木島平（宿泊料1割引・入浴料50円引）
- ④木島平観光(株)商品券1,000円分贈呈
- ⑤会報及び村広報誌の発送（月1回）



契約内容をよく確認して 定期購入トラブルに注意しましょう



【トラブルの事例】

「実質無料 初回送料のみ500円」と書かれた広告を見て申し込み、届いた商品に同封されていた書類を確認すると、5回分（1回5,000円）の受け取りが条件となっている定期購入だったことが分かった。

【アドバイス】

1回だけのつもりで申し込んだが、複数回の購入が条件だったという定期購入に関する相談が多数寄せられています。**注文する際には、定期購入が条件となっていないか、支払うことになる総額はいくらかなど、契約内容をしっかりと確認しましょう。**

契約内容は、「実質無料」などの目立つ表示と離れた場所に表示されていたり、小さい字で書かれていたりすることがあるため注意が必要です。

消費者トラブルでお困りの際は消費生活センターにご相談ください。

【北信消費生活センター 電話026(217)0009】

（相談時間 平日8:30～17:00）

【生活環境係 内線121】

自衛官募集のお知らせ

（年齢は令和4年4月1日現在）

●防衛大学校学生

- ◇資格 高卒〈見込含む〉21歳未満の者
- ◇受付 推薦・総合選抜 9月5日(日)～9月10日(金)
一般 7月1日(木)～10月27日(水)
- ◇試験日 推薦 9月25・26日(土・日)
総合選抜 1次:9月25日(土)
2次:10月30・31日(土・日)
一般 1次:11月6・7日(土・日)
2次:12月7日(火)～11日(土)の指定日

●防衛医科大学校医学科学生

- ◇資格 高卒〈見込含む〉21歳未満の者
- ◇受付 7月1日(木)～10月13日(水)
- ◇試験日 1次:10月23日(土)
2次:12月15日(水)～17日(金)の指定日

●防衛医科大学校看護学科学生

- ◇資格 高卒〈見込含む〉21歳未満の者
- ◇受付 7月1日(木)～10月6日(水)
- ◇試験日 1次:10月16日(土)
2次:11月27・28日(土・日)の指定日

●問合せ 自衛隊長野地方協力本部 電話026(235)6026

【生活環境係 内線121】

夏から秋の暑い時期は食中毒の多い季節です



健康
だより

食中毒に気をつけましょう

家庭でできる食中毒予防6つのポイント

時には命にもかかわる食中毒を防ぐために、これからの季節は次のことを意識してみましょう。

食品を購入するときは

消費期限などの表示をチェックしましょう。肉や魚などの生鮮食品や冷凍食品はレジに並ぶ直前に買い、なるべく保冷剤(氷)を利用しましょう。

家庭での保存方法

帰ったらすぐに冷蔵庫に入れましょう。冷蔵庫の冷却効果を高めるために入れる量は容量の7割程度にして、肉、魚は汁漏れ防止のためビニール袋や容器に入れて保存をしましょう。



料理前の下準備

冷凍食品の解凍は常温ではなく、冷蔵庫でしましょう。肉、魚は生で食べるものから離しておきましょう。生ゴミやトレイなどはこまめに捨てる。包丁・まな板・ふきんは洗ってから消毒するとさらに清潔になります。

調理するときの注意

加熱は十分にしましょう。(目安は中心部分の温度が75℃で1分間以上)電子レンジで調理する場合は、均一に加熱されるようにしましょう。調理を途中で止めるときは、食材は冷蔵庫に入れておきましょう。



食事をするときは

食事の前には必ず手を洗いましょう。盛り付けに使う器具や食器は清潔なものを使いましょう。



残ってしまった食品は

時間が経ちすぎたり、ちょっとでも怪しいと思った食材は捨てましょう。保存するときは清潔な容器に入れて、早く冷えるように小分けにしましょう。

食中毒予防は衛生管理が第一ですが、普段からの体調管理も重要なポイントです。

栄養バランスの良い食事と睡眠時間の確保、適度な運動を心掛け、ストレスを溜めない生活を心がけましょう!



管理栄養士
あやな
山田郁奈

健康福祉係
内線 127

包括だより

木島平村地域包括支援センター

地域包括支援センター

高齢者とそのご家族からの相談をいつでも受け付けています。
お困りの際は地域包括支援センターへご相談ください。

★健康福祉係 内線 126・127

★直通電話 0269 (82) 4771

高齢者等あんしん見守りネットをご存じですか

登録している高齢者の方（利用者）が徘徊により行方不明になった際に、地域のみなさん（支援者）が協力して見つける仕組みです。支援者の方は現在166名いらっしゃいます。

おじいちゃんが知らない間に外出し、どこに行ったのかわからなくなった…。道に迷うことが多くなった…。そんな心配がある方は、利用者登録をおすすめします。登録料及び利用料は無料です。登録されていれば、緊急時に短時間で情報共有ができ、より早期の発見につながります。

行方不明の方を探していただく支援者を募集



高齢者等あんしん見守りネットにご協力いただける方（個人、事業所など）を募集しています。行方不明者が発生した際にはその方の情報が、情報配信センターからEメールまたはファックスで配信されますので、可能な範囲で搜索に協力をお願いします。登録など、詳しくは地域包括支援センターまでご連絡ください。

セット健診では、会場への行き来が困難な方のために送迎もしています。

健診日前日までに（平日のみ受付）健康福祉係へご連絡ください。

子宮がん検診 まだ間に合います！

施設検診が7～10月まで受診できます。集団検診を受けそびれてしまった方など、今年度子宮がん検診を希望される方は、健康福祉係までご連絡ください。

受けて貯めよう 健康ポイント！

各種健（検）診の受診等で健康ポイントを貯めましょう。100ポイントで500円分のふう太の商品券に交換できます。

セット健診が始まりました。保健指導員会では、皆さんの健康を守るために健診の受診勧奨を行っています。

健診は、病気になるように、予備軍の段階で異常を発見し、生活習慣を見直すことを目的としています。そうすることで、病気の重症化を防ぐことができ、医療費を抑えることにつながります。現在通院中の方も治療中の病気以外の健康チェックが必要で、何よりも生活習慣改善が病気の回復や新たな病気の発症予防に役立ち

【保健指導員会事務局（健康福祉係）内線126】

また、がん検診はどの保険に入られている方でも受けることができます。検診料金も3割しか自己負担がないのでとってもお得です。ぜひこの機会に受けてみてはいかがでしょうか？

また、がん検診はどの保険に入られている方でも受けることができます。検診料金も3割しか自己負担がないのでとってもお得です。ぜひこの機会に受けてみてはいかがでしょうか？

こんにちは 保健指導員会です

下高井農林高校 掲示板

地域の高校「下高井農林高校」の
取り組みや出来事を紹介します。

「地域創造農学科」 での基礎学力の習得



現在は、1年次の学校設定科目「カルチベーション（農耕）」3単位と、3年次の放課後等を使った進路補習において義務教育段階の学び直しを行っています。2年次は何もありません。そこで、3年間通して基礎学力を身に付け、学ぶ楽しさを実感させて社会に送り出すため、新学科では1年次に「北信州学」、2年次は「カルチベーション」、3年次は放課後等の進路補習と、教育課程を再編しました。しかし、いくら科目等を設置しても、向学気風の向上を図らなければ「絵に描いた餅」で終わってしまいます。そのため、今年度の1年生からタブレットを個々で購入してもらい、学習支援ソフトを活用し、解る喜びを実感してもらう学びを展開しています。

地域に密着した学び②



以前から取り組んでいる「アレチウリ」の他に、木島平村の支援をいただき今年度から「ハルザキヤマガラシ」の駆除に取り組んでいます。さらに、駆除活動の際に生育場所を記録し、そのデータを基にして2年生が生育マップを作成しました。6月25日に日墓村長を訪ね、確認した特定外来生物の生育実態を報告させていただき、その際に村として協力を約束してくださいました。今後は木島平村だけでなく、飯山市においても特定外来生物「オオキンケイギク」「オオハンゴンソウ」などの駆除活動を通じて生育マップを作成します。地域の皆さんと協働し、末永く北信州の原風景を残せるように活動の充実・推進を図り、郷土を愛する人を育てます。

陸上部の活動紹介



部員は現在4名、練習は月々金の放課後に行っています。種目は全員が長距離で、個々で練習を工夫して走っています。大会等では1500mや5000mに出場していますが、走るたびに自己ベストを更新し、それが自信に繋がり、日々の練習に1層集中して取り組むようになりました。本来であれば、5月に開催された北信総体を機に3年生は引退するところですが、「このままでは終われない」とさらなる目標を立て、わずかでも可能性があるならば、10月末に開催予定の県高等学校駅伝競走大会を最後の舞台にしたいということです。駅伝に出場するには助っ人が必要なことから、他のクラブの3年生の引退後に声がけし、皆で陸上生活を締めくくりたいと思います。

所 在 地
だ よ り

木島平村駐在所
☎ 0269(82)4137

特殊詐欺にご注意を

今年に入ってから木島平村内では特殊詐欺被害は発生していません。最近の傾向から詐欺の手口を知って今後被害に遭わないようにしましょう。

●オレオレ詐欺が急増！

「電話でお金が出たらそれは詐欺」

県下では、オレオレ詐欺が6月だけで11件発生し、令和3年6月現在で合計17件の発生となり、合計被害額は3550万円にも上りました。

○オレオレ詐欺の手口とキーワード
・犯人の電話は、自宅の固定電話にかかってくる。
・息子や孫などの親族や医療機関職員、警察官などを装います。

・口実として、「携帯電話や財布が入ったカバンを置き忘れた」「会社で損害が出る」「至急、お金を

みゆき野 かわら版 飯水岳北地域情報

飯 山 市

松田華音ピアノ・リサイタル

6歳で芸術王国ロシアに渡り、2019年6月にはモスクワ音楽院を首席で卒業、現在モスクワ音楽院大学院に在学中。国内外のオーケストラと共演を重ね、世界を舞台に活躍する美しき天才による華麗なる演奏にご期待ください。

- 日時 10月24日(日) 開場 13:30 開演 14:00
- 場所 飯山市文化交流館なちゅら 大ホール
- 入場料 一般 2,000円 高校生以下 1,000円
(全席指定・未就学児入場不可)

●チケット発売日

8月21日(土)

●主催

飯山市／飯山市教育委員会

●プレイガイド・問合せ

飯山市文化交流館なちゅら
電話 0269(67)0311

(※火曜日休館)

- ・ご来館当日はご自宅で検温し、発熱や咳・咽頭痛など風邪症状のある方、体調の優れない方は来館を控えてください。
- ・施設内では鑑賞中および休憩中も含めて、必ずマスクの着用をお願いします。



©Ayako Yamamoto

野沢温泉村

ナイトゴンドラツアー

野沢温泉のロマンチックな夜景と星空を、ナイトゴンドラで楽しみませんか。

- 期間 8月7日(土)、8日(日)、11日(水)、12日(木)、13日(金)、14日(土)、21日(土)、28日(土)
9月4日(土)、11日(土)、18日(土)、19日(日)、25日(土)
- 時間 上り線 午後7時30分～8時00分
下り線 午後9時00分～9時30分
※午後8時～9時運行停止
- 料金 おとな 3,000円 こども 2,000円
(ゴンドラ往復・ソフトドリンク・ガイド含)
- 問合せ 株式会社野沢温泉(野沢温泉スキー場)
電話 0269(85)3166



NET119緊急通報システムの運用を開始しました

岳北消防本部では、聴覚、言語機能に障がいがある方を対象に、スマートフォン等を利用して119番通報ができる緊急通報システム(NET119緊急通報システム)の運用を、令和3年7月1日より開始しました。

このシステムは、音声での会話が困難な方が、いつでもどこからでも、音声によらないチャット形式で通報をすることができるようになります。

●登録方法

次のQRコードを読み取るか、「r.gakuhoku@net119.specan.jp」へ空メールを送信してください。

登録メール
送信用



●問合せ 岳北広域行政組合

電話 0269(62)0119

木島平村 駐在所



のりみち
若槻 徳道
巡査部長

その他、長野県警では様々な情報をお知らせしています。



- ・役場職員や金融機関職員を装います。
- ・口実として、「介護保険料の返金があります」「今月が支払期限です」「ATMで手続きができます」などと言って、ATMに誘導します。
- ・ATMでは、携帯電話をつないだまま、ATMを操作させられ、被害に遭います。
- 被害に遭わないために電話対策を
・在宅時も留守番電話
・迷惑電話防止機器の活用
- 還付金詐欺の被害が頻発！
「ATMでは介護保険料の返金は受け取れません」
還付金詐欺被害が毎月頻発し、前年同期比500%に増加しています。
- 還付金詐欺の手口とキーワード
・犯人の電話は、自宅の固定電話にかかってくる。

村税等の口座振替日は8月25日(水)です。
前日までに口座残高の確認をお願いします。

社協関係の行事は29ページ
「社協の予定」をご覧ください。

8月

31 火	30 月	29 日	28 土	27 金	26 木	25 水	24 火	23 月	22 日	21 土	20 金	19 木	18 水	17 火	16 月	15 日
村税等納期限					議会9月定例会 (9月17日)	教育委員会定例会 15時30分 農業委員会総会 13時30分 村税等口座振替日		木島平小学校始業式	家庭の日	コミュニティ・スクール研修会 9時	木島平中学校始業式		民生児童委員協議会定例会 14時			マイナンバーカード臨時窓口 9時~12時



もったいない情報



譲ります

- ・洋服タンス (6段)
- ・ドレッサー (鏡台)
- ・テレビボード (幅 100cm × 高さ 200cm)
- ・ビニールハウス用パイプ (高さ 55cm × 長さ 300cm)

譲ってください

- ・アルミ製手押し除草機 (2条押し、水田用)
- ・農業用ハウスパイプ支柱 (高さ 180cm 程度)

譲りたい、譲ってほしい品物がある方は、ご連絡ください。掲載から3か月以上経過したものはふう太ネットでご確認ください。【生活環境係 内線121】

「子どもの人権110番」強化週間

8月27日(金)~9月2日(木)は、全国一斉「子どもの人権110番」強化週間です。強化週間中は、通常の時間帯を延長して、学校における「いじめ」や家庭内における「虐待」など、子どもをめぐる様々な相談を受け付けています。

●電話 0120(007)110 (全国共通・無料)

●受付時間 午前8時30分~午後7時00分

※土・日曜日は午前10時00分~午後5時00分

※通常時は平日

午前8時30分~午後5時15分

【人権推進室 0269(82)2041】



エコパーク寒川

燃える ごみ処分量	令和3年7月 68,670kg	令和2年7月 74,130kg	前年同月比 93%
燃えない ごみ処分量	令和3年7月 3,460kg	令和2年7月 4,230kg	前年同月比 82%

燃えるごみ処分量を減らしましょう

分別収集とリサイクルにご協力ください。

ルールを守り、気持ち良くゴミを出しましょう。

生ごみを捨てる前には
ギュっとひと絞り

きちんと分別
燃やせるごみと資源ごみ



お通夜
御葬儀
家族葬
ご法要

事前相談、承ります。 ☎ (0269) 62-2677

樋口造花店 セピアホール樋口 検索

※政策情報係では広報誌に掲載する有料広告を募集しています。
【政策情報係 内線114】

有料広告

く 人権かるた くるしくないよここにぼくがいてあげる	15 水	14 火	13 月	12 日	11 土	10 金	9 木	8 水	7 火	6 月	5 日	4 土	3 金	2 木	1 水
				マイナンバーカード臨時窓口 9時～12時	マイナンバーカード臨時窓口 9時～12時		健康相談・介護相談 9時～11時	議会9月定例会一般質問（9日） 10時～			休日エコプラザ 9時～11時45分				心配ごと相談 9時～12時 選挙管理委員会定例会 18時～ 木島平中学校自主公開学習検討会 9時45分～

すこやか子育てカレンダー

【8月20日(金)～9月19日(日)】

予防接種

受付：13:00～13:15

場所：保健センター

●四種混合：8月30日(月)

●日本脳炎1期初回2回目：9月1日(水)
対象：平成30年3月～8月生●ビフ・肺炎球菌・ロタウイルス
：9月6日(月)
ロタウイルスの対象
：令和3年3月～6月生●日本脳炎1期追加
延期します。ご注意ください。

BCG 予防接種

日にち：9月16日(木)

場所：木島平村診療所

受付：11:30～11:45

対象：令和3年2月生

子ども健康相談

日時：9月9日(木)9:00～11:00

場所：保健センター

3歳児視機能検査

日時：9月14日(火)14:30～15:00

場所：保健センター

対象：平成30年3月～9月生

おひさま教室

子育て中の保護者同士の交流・ふれあいの場として、地域の子育て家庭に、おひさま保育園のプレイルームを開放します。

日時：月曜日～金曜日（保育園開所日）
9:30～11:30

場所：おひさま保育園プレイルーム

おひさま広場

場所：おひさま保育園プレイルーム

●8月24日(火) 9:45～

親子ふれあい遊び（制作）

季節に合わせた楽しい制作をします。何を作るかはお楽しみ。

●8月31日(火) 9:45～

親子ふれあい遊び（運動）

保育園の遊具を使ってサーキットなどをします。体を動かして遊びましょう。

●9月7日(火) 9:45～

ケヤキの森公園で遊ぼう！

水筒やベビーカー等をお持ちください。

●9月14日(火) 10:00～

薬剤師さんのお話を聴こう！

薬の飲み合わせなどについて、お話を聴きます。

7月の出動件数（岳北消防本部）

見逃すな 小さな火の子 かくれんぼ

市町村	火災	救助	救急	市町村	火災	救助	救急	市町村	火災	救助	救急
木島平村	0件	0件	23件	野沢温泉村	0件	0件	16件	その他	0件	0件	2件
飯山市	0	4	84	栄村	0	0	9	《合計》	0	4	134

議会

No.238

令和3年6月第2回定例会
行政事務一般質問
6月9日、10日
村政に対して8人の議員が質問
しました。



議会に対するご意見
をお聞かせください。

電話

☎0269(82)3111
(内線170)

E-mail

gikai@vill.kijimadaira.lg.jp

発行：木島平村議会
編集：議会だより編集委員会



勝山 正 議員

1. 国・県の千曲川河川整備状況 及び村の考え対応について

質問

- ① 国や県が取り組んでいる現在の事業及び今後の事業は。
- ② 令和元年の台風19号規模の水害が発生した場合、今度は千曲川の堤防を越水する可能性がある、その対応・対策は。
- ③ 千曲川の河川整備が最も重要な対策であるが、村としての考えと具体的な取り組みは。

村長

令和元年10月の台風19号で甚大な被害が発生した千曲川及び信濃川については、国・新潟県・長野県・信濃川流域の41市町村が連携し、令和2年1月に「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を立ち上げた。

流域一体となった防災・減災対策の推進を図り、水系全体で河川

整備、流域対策、まちづくり、ソフト対策を一体的・緊急的に進める計画。

小松建設課長

- ① 立ヶ花地区と戸狩地区の河川狭窄部の河道掘削工事が進行し、各所で護岸整備や堤防補強が行われている。
- 遊水地の設置関係では、上今井地区と蓮（はちす）地区で整備計画の調整、令和3年度事業関係の工事では、樽川堤防の新橋上流の漏水対策工事と、糠千地区周辺2か所、一級河川大川では樽川合流部分の護岸工事が進行中。

浚渫（しゅんせつ）工事については、順次必要箇所が進められることになる。

- ② 国、県、市町村が連携した河川整備と流域における対策を一体的・緊急的に推進し、再度災害の防止・軽減のため、流域全体のバランスや氾濫域のリスク等を勘案し、千曲川の水位低下を目指す、対策を行う計画。

- ③ 本年度、県で、村内3つの一級河川浸水想定地域の見直しが行

われ、その結果を反映した村のハザードマップを地域住民へ周知する。

2. (財)長野県下水道公社への 総合一括管理について

質問

- ① 長野県下水道公社へ一括管理での委託の目的は。
- ② 委託料800万円が上乗せになり、使用料から賄われている。令和2年度の予算・事業計画に對しての実績、費用対効果は。
- ③ 一括管理でのメリット・デメリット、改善すべき点等は。

村長

- ① 公共下水道の施設の管理及び工事設計・監督をする上では、下水道法により資格者が必要。

村では専門技術職員の確保が困難。木島平浄化センターと馬曲・糠千地区の農業集落排水の処理場維持管理と必要な設備の修繕等の業務を一括して委託。長期的な観点での経費削減も期待される。

- ② 令和2年度は、計画した修繕工事も含めた委託料に対し、当初

予定額8千633万9千円から530万円の減額。

下水道公社の技術支援関係の成果として、修繕工事の仕様の見直しにより工事が削減。

小松建設課長

- ① 適正な施設の運転管理と監督業務、機器更新の計画策定など、資格者の管理のもと、一体的に管理運営し、効率的な下水道経営を目指すことを目的としている。
- ② 削減効果が大きいものは、処理水の滅菌方式の変更に関する消耗品及び電気料の削減。
- ③ 施設の運転維持管理監督業務、施設設備の機能維持のための修繕工事等の対策を一括業務としており、常に緊急対応と状況判断できる体制が整っている。下水道施設の特性・規模・能力等に精通し、施設機能の発揮や幅広い専門の知識・技術力があり、豊富なデータに基づいて効率的に実施できるため、無駄を省いたトータルコストの削減が期待できる。現状では課題や改善点、デメリットは特にない。



山崎 栄喜 議員

1. ファームス木島平について

質問

- ① 計画通りに行かなかった要因は何か。検証したのか。
 - ② 新型コロナウイルス対策交付金を「事業改善計画」(以下「計画」という。)の策定に充てるのは問題ないか。
 - ③ 計画の策定を「道の駅支援機構」に委託する予定だが、再生に関わった件数と再生できた件数は。
 - ④ 民間活力による自由な施設管理・運営を目指すのであれば、施設を借りる企業が計画の策定を行えばよいのではないか。
- また、施設を使用したいという会社があるのに、計画が必要か。
- ⑤ 指定管理料の算定が調査・策定項目に入っているが、中身は何か。
 - ⑥ 令和5年度に8千万円をかけて屋根を改修する計画がある。概要は。
 - ⑦ 再生の見通しや自信があるか。
 - ⑧ 国からの補助金や交付金、過疎債の返還の対象にならない最低限の運営、若しくは用途変更の道を探るのも選択肢の一つではないか。
- 今年度方向性を決定するにあたり、計画策定業務を予算化した。

施設を有効活用しながら、地域活性化を進める。

湯本産業企画室長

- ① 施設規模が大きく有効活用できず、当初から雨漏りがしていた。検証は実施していないが、利活用検討委員会と議会から意見を戴いた。
- ③ 平成30年度に設立し、11件の支援に関わっている。
- ④ 利用希望は加工室等で、施設全体の管理は計画していない。計画は、施設全体の管理や収益など、将来的な計画策定に必要。
- ⑤ 収益事業以外を想定。
- ⑥ 屋根の全面撤去及びふき替え。
- ⑦ 実績ある専門家からのアドバイスを受け、当初の事業目的も含め検討する。
- ⑧ 施設の耐用年数が対象期間。10年経過後に返還対象とならない場合がある。

丸山総務課長

- ② コロナ収束後の事業の維持・再編への支援の事例もあり、問題ない。

再質問

- ① 民間活力による自由な施設管理・運営を目指しながら計画を策定するのは、基本方針と齟齬(そご)がある。
- また、計画を作ることにより、民間企業がやりにくくならないか。

- ② 全協で示された資料では、管理者が負う事業リスクを回収するため必要となる指定管理料及び期間

の算定を行うとあるが、赤字補填分は入っていないのか。道の駅機能に係る経費なら、これまでの実績で把握できるはず。

道の駅機能分の費用は、指定管理料に含めるのか。

湯本産業企画室長

- ③ 6年で屋根の全面ふき替えはおかしい。施設を造るにあたって、建築基準法による確認申請は。当初設計業者に話を聞いたり、別の業者に診てもらわなければならない場合は、どんなケースか。

- ① 民間事業者が運営するためにどのくらいの収益が必要か算定する。プロポーザル、公募等で運営者を決定する。

- ② 必要な指定管理料を想定する。
- ③ 建築基準法に合致している。建築当時の業者ではない方の見積もり。

- ④ 目的外使用の収益事業は返還。無償譲渡は返還必要なし。有償は返還が必要。

再々質問

民間企業との意見の相違があった場合は。

湯本産業企画室長

意見を聞きながら調整する。

2. 押印の廃止等について

質問

国から、地方公共団体における書

面規制、押印、対面規制の見直しについての通知がある。

- ① 押印廃止の方針と進捗状況は。
- ② 水道の開閉栓届出など、電子メールやファックスによる届も可能にできないか。

村長

できるところから進める。

丸山総務課長

- ① 現在確認作業を進めている。

小松建設課長

- ② 本人確認の手続きの方法と併せて検討する。

再質問

- ① 目標年度を定めているのか。
- ② 水道の開閉栓等、毎年手続きを繰り返しているものもある。再検討を。

丸山総務課長

- ① リストアップを秋頃までに終了。令和4年4月を目標に行う。

小松建設課長

- ② 簡単にできるように進める。

3. 議会対応について

質問

最近、議会で議決後公表していたものを議会に諮らないで公表し、議会に報告があつて然るべきと思われる案件が議会に報告無く、新聞報道等で知ったという事案が続いている。どう思い、今後どう対応されるのか。

村長

新たな取り組みや広く村民に関わる事業などについては、できるだけ詳細に報告する。



山本 隆樹 議員

1. 樽川河川整備事業について

質問

平成30年度から始まり、令和2年度までの、国の「防災・減災、国土強靱化（きょうじんか）」の為の3か年の緊急対策」事業の中、新橋からカントリーエレベーターの間で、11か所の漏水箇所が見つかり対処され、現在、堤防の法面（のりめん）に、ハイパーマットが敷かれている。

①どのように対応（対策）されたのか。

②河川整備が大きく進展した。今後の進捗状況はどうか。

③現在の国道403号を樽川の左岸に沿って移設する計画を考えているとの事。大橋から新橋区間の左岸に移設すれば、さらに、左岸堤防の強化が図られるが。

小松建設課長

①樽川漏水箇所の対応

樽川右岸に約400m、左岸で約140mの区間について法尻（のりじり）をカゴ工で抑え、水はけを良くしながら土砂の流出を抑えるための吸出し防止材を設置することにより、堤防の安定化が図られた。

法面成形等により土の露出した部分は法面保護のため植生マットが設置されている。

②今後の進捗状況は

その他樽川の河川工事では、糠千地区周辺2か所の河川改修工事が実施されている。

緊急性の高い工事は、今回で終了となる。

③国道403号の移設の件

豪雨の度に水没し通行止めとなってしまうという点では、国側としても理解している。

現時点では大きな進展は見られないが、関係する市町村と連携して要望していく。

2. 下高井農林高校の存続について

質問

令和3年度に向けて、行政支援の中でコーディネーター配置が取り上げられ、地域連携コーディネーターが配属された。どのような交流調整を考えているのか。

県教委は「下高井農林高校の来年度の学科改編」を承認した。地域からの要望や、少子化への対応のため改編するとし、現行の2学科を「地域創造農学科」に改編。各学科内にあった8コースを「産業創造」「環境創造」の2コースにする。農林業

を横断的に学ぶほか、生徒を支える「地域連携推進連絡会」を立ち上げ、地域交流を深めた学習を展開するとの事。

これからの地域づくりを「下高井農林高校」と一緒になって取り組み、地域の産業、環境と人材を創り上げる。地域の役割が益々重要と考えるが。

教育長

「地域連携コーディネーター」は、現在農林高校生の独自の活動や農林高校生と保育園・小学校との交流活動に関わっており、今後も高校側と連携を図りながら特色あるカリキュラムにつなげられることが出来ればと考えている。

地域の活性化、地域産業の活性化に地域全体で関わっていく事が使命ではないかと思っている。高校生には「地域活動支援事業」として引き続き財政支援をしていく。

また、共感を与え、産業、環境に結び付くクラウドファンディングの準備を開始した。

3. 「1t1kg」の減量化について

質問

広報木島平5月号に「特集」として取り上げられている。

村で出される燃えるゴミの処理量は、年間村民1人あたりに換算すると、183kgを燃えるゴミとして出

している計算。ゴミの処理費用は1人当たり約2万円とのこと。村としてのゴミ減量化の取り組みは。

併せて、コンポスター（生ごみ堆肥化容器）の普及率を聞きたい。

また、長野県（環境部）のプレスリリースで「長野県がごみ排出量の少なさランキング6年連続日本一」と公表された。木島平村の評価はどうなのか。

山崎民生課長

ごみ削減について、村広報誌、村ウェブサイト、ふう太ネットにて村民に広報していく。今年度は消費者の会にご協力をいただき、テレビ広報を行う。

担当職員が地区に向き、ごみ削減についてPRを行う。

コンポスターの普及率の算出については難しい部分があるが、補助件数は平成24年度から令和2年度までの9年間の合計が185件となっている。

「長野県のごみ排出量の少なさランキング6年連続日本一」について、生活系ごみの1人1日当たりの総排出量は、長野県全体で553gに対し、木島平村は600gと約50g上回っており、ごみの減量化、資源化についての重要な課題と考える。



山浦 登 議員

1. 国民健康保険の均等割 保険税の減額について

質 問

来年4月より国民健康保険制度が改定。全世帯の未就学児を対象に均等割保険税の5割が公費負担により軽減される。

この改定にあわせて、子育て支援と若者の移住定住策の1つとして均等割保険税減額の対象者を小学校卒業年齢まで引き上げ、国保加入村民の負担軽減が図れないか。

①減額対象者を小学校卒業年齢までとした場合、未就学児を除いた対象者は何名か。

②実施する場合、保険税減収分は、概算いくらになるか。

③実施が可能か、見通しについて。

山寺民生課長

①対象者を小学校卒業年齢までとした場合、令和4年度スタート見込みで32人。

②実施する場合の保険税減収分は、概算で35万1780円。

③村独自の実施は、他の健康保険加入者との均衡の観点からも慎重な対応が必要。子育て支援は重要

な施策であり、国、県に要望していきたい。

2. 新型コロナウイルス 対策について

質 問

ワクチン接種は、今全国で進められ、幸い本村では、村の適切な対応により大きな混乱もなく、事前の希望調査と計画に基づきスムーズに接種が進められている。関係者の努力に敬意を表したい。

感染拡大の第4波は、減少傾向にあるが、インド型変異株の感染拡大が懸念され、収束はまだ見通せない状況である。

①感染対策とワクチン接種を同時に行う体制、医師、看護師等医療従事者の確保、ワクチンの確保は。

②長期化の中で実状把握の体制が整っているのか。新型コロナウイルスの影響により小中学生の3割が肥満、視力低下、保健室登校、拒食等によりストレスを抱える子供が見られるとの報道があるが、本村はどうか。

村 長

①村内医師、看護師の皆さんの協力により順調に進んでいる

教育長

②本村の児童生徒には、現在顕現されていない

3. 個別施設計画策定と村施設の 維持管理更新について

質 問

①個別施設計画の策定・総合管理計画の見直しが遅れているが、今後の事業推進には支障はないのか。

②見直しの際は、利用頻度・費用対効果・事業内容等を精査、施設利用者の意見を十分把握する必要がある。

③大町の旧農協倉庫に村民から寄贈された昔の生活用具・農工具等の民芸品が多数収蔵されている。村の歴史と故郷を知る貴重な宝である。施設の活用という意味で、中町展示館へ展示して村民に公開したかどうか。

丸山総務課長 ①及び②

総合管理計画の改定案がまとまったところで村民の皆様からもご意見をいただく機会を設けたい。現時点支障は出ていない。

高木生涯学習課長

③中町展示館は、令和2年は全体で2300人の利用があった。大町倉庫の活用、移設の関係も含め、更なる中町展示館の活用をしていきたい。

4. 人口減少過疎化の進行に対する 木島平村の将来ビジョンについて

質 問

本村は人口減少、過疎化が進行し

ている。村民、特に若者が希望の持てる木島平の将来ビジョンは。

第6次総合振興計画をさらに具体化すること、守りから攻めに転換する施策と木島平の魅力・将来のビジョンをより一層村の内外に分かり易く示し、発信することが必要ではないか。

村 長

第6次振興計画、特に人口減少対策に絞った事業を、数値目標をあげながら取り組んでいる。今年から地域活性化起業人を受け入れ、新たな魅力の発掘と活用を図っている。

丸山総務課長

若者がこの地に魅力を感じ、住みたい、住んでよかったと思えるような村づくりを進める必要があると考えている。そのために、子育て・教育環境の充実や地域産業の支援を継続しながら、居住環境の拡充などをUターンや移住希望者なども対象に進めていく。

再質問

昨年から感染拡大により、深刻な影響がもたらされている。生活様式の見直し等により村の将来ビジョンや第6次振興計画の見直し・修正はあるのか。

村 長

具体的な中身について修正が必要だが、基本的な方向については、引き続き継続していきたい



丸山 邦久 議員

1. 一般質問における 村長の答弁の重みについて

質 問

令和2年9月議会と、半年後の令和3年3月議会一般質問とでは「指定管理の見直しを早急に検討する」は「今はその時期ではない」に変わり、「組織人事の大幅な見直し」は行わずにいる。

特に問題なのは「リフト売上と臨時交付金は他の事業と会計を明確に区別し、スキー場に係る経費のみに充当し、他の部門には充当しない。」と明言したものが「一時的に全体的な中で流用。」と変化している。

このような変節的で場当たり的な答弁で良いのか。

村 長

状況に応じて考え方が変わる。変わった原因と状況は、議員の皆さんに説明をしていきたい。

再質問

答弁がコロコロ変わるようでは、一般質問の意味がない。一般質問に責任を持って答弁しているか。

村 長

その時その時に、最も適切な判断をしていきたい。

再々質問

答弁の背景は「赤字のスキー場と馬曲温泉を観光(株)から切り離す」から始まった。その後、1億9千万円の第2次交付金が村に交付されることになり、その内1億円近くを観光(株)に注ぎ込むことに批判があった。

その批判をかわすために、早急にやる、責任を持つてやる、大幅に見直すと答弁をした。しかも交付金を公共性が高いリフトにのみ充当すると明言している。それが他の部門に流用となると最初の理論と全く食い違う。

村 長

木島平観光は村の観光を担う重要な企業で、経営を継続するために一番良い方法を考えた。状況変化の中で最適な方法を取り、村の産業を支えるのが私の役割だ。

2. 村の水害対策について

質 問

5月20日から「避難勧告」が廃止され「避難指示」に一本化された。そこで村の水害時における避難計画について質問する。

①警戒レベル3「高齢者等避難」、

警戒レベル4「避難指示」、警戒レベル5「緊急安全確保」は、村民にどのような行動を求めているのか。

また、村民への告知の方法は。

②協定書により飯山市の避難所に木島平中学校を充てているが、避難想定人数は何人か。運営にあたる市職員は足りているか。

③避難判断水位が立ヶ花観測所で9・2mから7・5mに変更されたが、その根拠は何か。

④令和2年3月議会で避難時間に余裕がないので、避難判断する観測所を立ヶ花の上流に設定を進言したが、いまだ設定はされていない。その理由は何か。

丸山総務課長

①レベル3「災害の恐れがあるため、高齢者等は危険な場所から避難する」。レベル4「災害の恐れが高い状況にあるため、住民は全員避難する」。レベル5「災害が発生または切迫した状況にあるため、命を守るための最善の行動をとる」ことを求めている。

村民への告知は、6月広報と区長会で説明をする。

②飯山市の避難想定は300人。飯山市職員の配置は9人。

③千曲川河川事務所避難に要する時間と水位上昇速度を考慮して変

更された。

④千曲川河川事務所立ヶ花の水位で当地区の危険度を判断している。

再質問

①以前、飯山市との協定書の問題点を指摘した。改訂していただいたのは、一般質問の成果だと思う。

また、今後の水害時に適切な判断ができるように19号台風の経験値を後に引き継いでいただきたい。

②避難水位の改定による余裕時間は1時間半。緊急時に充分と思えない。

丸山総務課長

①日頃の訓練・意識が必要であると考えている。

②対象村民の避難準備が大事。樽川の水位等を考え、避難指示を出したい。

再々質問

緊急時に大変にならないように平時から準備しておく事が大事。

住民と避難に対する考え方を共有し、警戒レベルが発令された時の取るべき行動の周知を今のうちからやっていただきたい。

丸山総務課長

有事の際に適切な判断を早急に行うのは行政として必須の対応である。その地域の村民にも有事の際に備えるよう日頃から周知を継続する。



江田 宏子 議員

1. 企業や大学等との連携協定のあり方について

質問

村は複数の企業や大学と連携協定を結んでいるが、活かさなければ意味がない。連携協定の現状・あり方・今後の考え方を伺う。

丸山総務課長

●現在、5大学と連携協定、4企業と包括連携協定を結び、それぞれの担当課で管理・対応している。

●大学との連携は、村としては主に地域活性化など、大学側では人材育成・教育・研究活動などを目的とし、ワークショップによる提案や教育実習・農業実習や文化芸術活動など、これまでも村内での活動、村民との交流が進められてきた。

●村内郵便局との協定内容は、地域振興・活性化、暮らしの見守り、子どもの育成、災害時の連携等だが、現在、具体的な取り組みや活動には至っていない。

●(株)クロスプロジェクトグループは、観光振興に特化した協定で、既に連携して取り組んでいる。

●第一生命保険(株)長野支社は、健康増進・青少年育成・スポーツ振興・高

齢者支援など。

●(株)フボータは、ドローンの活用で、産業・災害・教育や学術研究など。

●各企業が得意とする分野を中心に具体的な取り組みを展開したい。

●新たな協定締結は、村が期待する取り組みを実現できることが前提。村のメリットが具体的に見え、多くの方が期待できる協定であれば積極的に進めたい。

再質問

専門的なノウハウや組織力の活用など、村にとって有効であり、戦略的・積極的に相手先を模索すべき。協定締結の有無にかかわらず、大いに外部の力を借り、効果的に事業を進めることが村の活性化につながる。

①頻繁に行き来できる県内の大学・専門学校等へのアプローチの考えは。

村長

①村としてもぜひ進めていきたい。
②担当課だけでなく、全職員でその認識を共有し、様々な分野で協定の効果が出るよう対応したい。

2. コロナ禍での関係人口・交流人口拡大の取り組みについて

質問

コロナ禍での「取り組みの差」が、コロナ収束後の「誘客の差」や「関係人口・交流人口拡大の差」につながる。
①特に、牽引(けん引)役である産業

課や観光振興局の取り組みの状況は。
②発信という点で「村の公式ウェブサイト」も大事なPR素材。次年度のリニューアルに向け、今年度は準備段階だが、現在の進捗状況は。

村長

観光のみならず、移住定住、子育て環境の充実など、地域づくりの取り組み全般にわたって考える必要がある。また、効果的な情報発信、資源の魅力アップに向け、村、観光振興局、木島平観光(株)など、多様な主体が一丸となって取り組みを進めていきたい。

湯本産業課長

①多方面からアプローチをかけ「村を訪れてみたくなるプログラム作り」
「効果的な情報発信」を進めたい。
・「地域活性化起業人制度」(総務省を活用し、民間のノウハウを活かした資源の再発掘や魅力化を進める。
・人を惹きつける統一的な「キーワード」
「キャッチコピー」を検討する。
・村の雰囲気を感じられる「PR動画制作」
「ふるさと納税の産品充実」。
・(移住希望者等に)田舎暮らし体験住宅で畑体験ができる環境整備、わかりやすい情報提供、先輩移住者から直接話を聞く機会の提供。
・「ワーケーション」(※ワーク&バケーション。リゾート地で仕事をしながら休暇を楽しむ)のセミナー開催、高社山やカヤの平の山歩き、Eバイク(※電動自転車)での周遊体験、文化的資源等の見える化など、多様

な資源活用と情報発信。

丸山総務課長

②何をどのように変えるか洗い出しの時期だが、現時点では具体的な検討に至っていない。

3. 気候非常事態宣言による具体的な取り組みは

質問

世界的に「異常気象による災害」が多発しており「CO2削減」は全世界で取り組むべき喫緊の対策。

「気候非常事態宣言」(3月に表明)は、意識の啓発と共に、行動計画が重要。

①庁内の行動計画及び村内事業所・村民の皆さんへの啓発内容は。

②自然エネルギー・再生可能エネルギー活用の方針について伺う。

また、ソーラーパネルは、現時点では課題もあり、慎重な対応も必要。公共施設屋根等へのソーラーパネル設置の考えについて伺う。

丸山総務課長

①本年度は計画策定の予定であり、具体的な内容は策定段階で検討。村内事業者はじめ、専門分野の方からもアドバイスをいただきながら、次年度の予算編成に間に合うよう11月中旬の策定をめざす。

②方針は計画策定の中で検討。国では新たな公共施設に太陽光パネルを標準化するなどの情報や動きもある。幅広く情報収集し、専門家等の意見を聞きながら計画策定を進めたい。



芳川 修二 議員

1. 村の人口減少問題について

質問

旧3村が合併して村が誕生した昭和30年当時、人口は8206人。その20年後、昭和50年には6180人と減少を続け、近年の平成30年には4467人と、人口は減少を続けている。

集落によっては空き家だらけ、あるいは廃墟。一人暮らし老人がその中に取り残されたような状況が予測される。消滅の危機に瀕している。人口減少を食い止める施策をどう展開するか。

村長

令和42年の推計値3000人を目標に具体的な数値目標を掲げ、目標達成のため様々な施策を行っている。

再質問

村と地域に仕事を作る経済の仕組みを確立することに重点をおくべき。村に暮らせる仕事を作り出すことが最も大事と考えるが、どうか。

村長

新たな企業、創業をする。新しい仕事の間をつくっていくことに力を

入れていきたい。

再々質問

これまで培ってきた村の農村としての機能や価値を守り発展させることが大事である。耕作放棄地対策、農業の特産開発等、明確に分かりやすく取組むよう要望するが、いかが。

村長

ドローンを使つての新たな産業、道の駅農の拠点の加工室を活用しての新たな産業開発等に取り組む。

2. 村政執行の基本姿勢について

質問

ファームス木島平に関して「都内企業が7月から利用、村と6月中旬に契約と新聞報道された。

今議会の初日に説明の機会があったが一切なかった。新聞報道があったが急遽、全員協議会で説明があった。村政の運営は二元代表制であり、一方の議会に対して説明がないまま村長の一存で決まるべきものではない。村政の執行にあたっての基本姿勢についてどう考えているのか。

村長

加工室については初日の全員協議会で新たな利用者と利用に向けて準備をしていると言った。新聞報道はその翌日だ。

再質問

聞いてない。これまで村内の業者も使わせてもらいたいという話もあったが、施設の不備を理由に、難色を示して了解をもらえなかったと聞いている。公募をするべきだ。村外の業者からの話については、検討したいのと、議会に了解を求める手続きが必要と考えるが、いかが。

村長

細かく説明してもよかった。新聞報道では決まったように書かれていたが、実際には準備をしている段階で決定はしていなかった。

再々質問

基本姿勢について聞いているわけで、今の加工室の利用等については別の話として協議する必要があると考えるがいかが。

村長

希望する事業者、事業するにあたっては村に拠点を置いて、村の企業として事業を展開してほしいとして準備を進めている。

3. 第三セクター(株式会社)の経営体制について

質問

村と包括連携協定を結んだ会社と株式会社が新会社を設立したとの説明の際、株主総会の議決を経っていないとあった。緊張感をもって運営さ

れるべきだ。

村が税金を投入した会社であり、本来の株主は、村民であるはず。経営状況が悪化している場合には、村に多額の財政負担が生じる。株主総会には、村民の株主としての議決権を行使できる仕組みにするべきであると考え、答弁を。

村長

木島平観光の取締役会の中にはすべての株主が構成員として入っており、取締役会の承認は株主総会の承認につながると解釈している。

個々の村民が出資者ということではなく、村が出資者である。

再質問

村長が社長として経営責任を持ち、株主の代表としての権限を持っている。村長の独断で全てが決まる構造にある。今ある債務や今後ありえる損失や債務保証を全て村長という一人役職で背負いきれるのか。辞めた途端に今までの負債がすべて村の責任になる。株主総会のあり方を見直すべきであると考え、答弁を。

村長

定款の見直し等は、現時点で株主の構成を変えることは考えていない。取締役の構成等については、幅広い意見が聞けるような形で進める方向で考えていきたい。



土屋喜久夫 議員

1. 自治体経営は如何に

質問

- ① 超高齢、人口減少の状況下、どう自治体経営を進めるか。
- ② 行政コストを全庁的に意識しているか。
- ③ 村税等、キャッシュレス化は。

村長

① コロナの感染予防対策、ワクチン接種が喫緊の課題。コロナ後の状態に対応する体制の整備を指示している。

丸山総務課長

- ② ペーパーレス化の推進は、環境問題からも重要。
 - ③ キャッシュレス化は、村全体で約1千万円程度の導入コストが必要。
- 再質問**
- ① コロナ禍で村民の安全を優先し、通常の生活を進めることに意識を集中するべき。
 - ② ペーパーレスも必要だが、職員一人ひとりが本当の意味のコスト意識を持てるのか。
 - ③ キャッシュレス化に1千万程度の導入コストとあったが、一般の商店が導入できる実態を研究されているか。

店が導入できる実態を研究されているか。

村長

- ① 感染対策を取り、可能なものは実施。
- ② 予算ヒアリング等では、タブレット（のちにノートパソコンと訂正）を使い、厚い資料が無くて済む。

丸山総務課長

- ③ 県内の先行自治体を確認。集合税方式のキャッシュレス化を想定した内容。

再々質問

村長答弁でタブレットの話が出たが、議会の資料もタブレット化し、ペーパーレスで行政コストの低減はいかがか。

村長

議会に限らず、コストの削減、情報管理等も対応できる形で進めていきたい。

2. 行政情報の周知公平性

質問

- ① 情報通信施設が直営となったが、運営の指揮命令系統はいかがか。
- ② ページング放送を行う全職員のアナウンス研修はいかがか。
- ③ 65歳以上の高齢者等の新型コロナウィルスワクチンの予防接種の村の動きが、見えづらい場面が多すぎる。

村長

- ① 村民への行政情報の周知は重要。内容を正確に、そのタイミングも大事。

丸山総務課長

- ① 業務担当は、会計年度任用職員で総務課所管。

職員への研修は実施していない。

山崎民生課長

- ② 住民への周知は、個々への通知、広報きじま平に折込。ふう太ネット、村ホームページで。今後、タイムリーに広報していく。

再質問

- ① 選挙報道等のページング放送は、専門職で対応できないのか。
- 村のホームページの更新が遅い。

丸山総務課長

- ① 対応は可能。
- ホームページは、更新のスピード、情報発信の適切な対応をする。

3. 木島平農業の振興策を問う

質問

- ① 金紋錦が前年比1200俵（40%）減の契約となるが、村の施策との整合性はいかがか。
- ② 農の拠点事業で、ヴィーガンとの方向性が示された。担い手不足の木島平農業になじむのか。
- ③ 生涯教育を進め、生きがい農業を推進すべきと思うがいかがか。

村長

- ① 酒造好適米の需要が落ち込んでい
- る。金紋錦は、大事な特産品であり、生産枠の拡大に取組む。
- ② ヴィーガンという言葉は使わず、村の農産物に付加価値を付けて販売したいとのこと。

湯本産業課長

- ② 村としての方向性でなく、加工室の利用者の事業の取組み。
 - ③ 農業は、健康づくりや生きがい
- に有効。現役をリタイアした方々も、ぜひ、積極的に農業に取組んでいただきたい。

再質問

- ① 金紋錦の生産枠の拡大の方策は、どのような展開を考えているか。
 - ② 加工室の利用者とのことで、実際に木島平村の農産品の中で、加工に回せる農産物はどの程度あるか。
- 農の拠点施設の加工室は、当然、想定して、計画されたと思うが、農産物の生産量は、いかがか。

湯本産業課長

- ① J A、農家とどのような農業が可能なのか検討していきたい。
 - ② 高付加価値の加工、販売を進められる事業者もあり、可能性について考えていきたい。
- 村の農産物、加工に回る農産品は把握していない。

生き、活き 木島平

No.543

みんなが楽しみをつくりだす村

「自然と文化を守る 人と地域をつなげる」

初心者・女性・シニアのためのパソコン教室

7月7日から5回にわたって開催されています。講師は、しなのIT活用同好会の唐澤武男さんです。

この講座は、初めてパソコンに触る人が「仕組みを理解してインターネットでの調べ物や、文章作成ができるようになる」という目的で開催されました。

第1回は、パソコンやスマ



参加者でいっぱいの会場



相談しながら進める参加者

皆さん頑張っています

ホで何ができるかという話題から始まりました。

皆さんはじめてなので、実際の操作はマウスの持ち方やクリックの仕方から始まりました。参加者は、ダブルクリックのタイピングなどに不慣れで戸惑っていましたが、繰り返し返すうちに次第に慣れていきました。

文字の入力を初めて経験した人は「これでパソコンが使えるの見通しが立ってきた。次は線の引き方を覚えたい」と力強く語っていました。



シニア学級『せつと塾』

いろいろな分野を楽しく学んでいます

今年度は、これまで、計画通り活動ができ、塾生の皆さんに楽しんでいただけています。その様子を紹介します。

【5月14日村長講話】

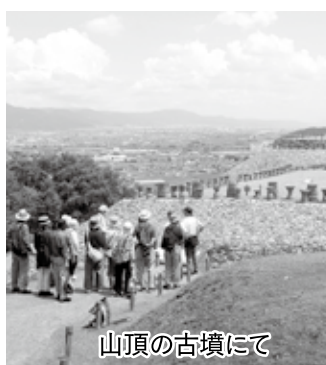
「木島平村のこれから」というテーマで、日墓村長からお話を伺いました。社会で問題になっているテーマがそのまま木島平村にも直結し、その克服に向けての取り組みを知ることができました。

【6月24日テレビ講話】

タブレットでテレビ講話を体験しました。操作に戸惑いながらも、頑張って取り組みました。離れていても全員の様



村長講話



山頂の古墳にて

子が映っている画面を見ながら、会話を楽しんでいました。
【7月14日森將軍塚古墳見学】千曲市にある県下最大の前方後円墳です。山の上に作られた古墳を目の前にして眼下に街並みが広がる景観に、皆さん目を奪われていました。今後いろいろな内容の学習をします。興味のある方は農村交流館へご連絡ください。
☎ 0269(82)2041

木島平
検定!

きじま平再発見 ～木島平検定に挑戦しよう～

問56 木島平村には、ある有名な俳人の句碑が11基も建てられています。特に原大沢にある句碑の句(夏草や兵どもが夢のあと)は有名です。さて、この俳人は次の誰でしょう。(① 小林一茶 ② 正岡子規 ③ 松尾芭蕉 ④ 与謝蕪村)

問57 部谷沢には、ある動物を護るために、その動物を祀っている神社があります。さて、この神社で祀られている動物は、次のどれでしょう。

(① 鷹 ② 鳩 ③ 熊 ④ 鹿)

(※解答は、27ページにあります。)

発行：木島平村公民館
編集：公民館報編集委員会
住所：長野県下高井郡
木島平村大字上木島1762
TEL：0269 (82) 2041
FAX：0269 (82) 4020
E-mail：
kouminkan@vill.kijimadaira.lg.jp

木島平村の埋もれた文化

（二〇年前の記録を未来につなぐ）

No8

せんちようこう

「せんちようこう」とは聞き慣れない言葉である。いったいどういう漢字を書き、どんな意味を持った言葉なのだろうか。私のせんちようこうの旅はここから始まった。以前「鳥踊り」が注目を集めたときに聞いた覚えがある。その時は、さほど関心もなく聞き流していたのであるが、ここでもう一度探ってみようと思った。

せんちようこう、おせんちよさん、鳥踊り、盆じやもの、まったく関係ないようなこれらのものは、聞いて歩くうちに一本の線上につながっていった。

まず、以前聞いた鳥踊りの言い伝えを手がかりに、この踊りの内容を調べてみた。すると鳥踊りは元々「せんちよう」という人の霊を慰めるための踊りであること。その緑日が八月十六日であること。そして、なによりも戸隠神社

に關係するいわれのあること。更には修験道（注1）の布教の一形式であることが分かってきた。

せんちようは、戸隠神社の大先達（注2）であった。その頃、戸隠神社は戸隠山顕光寺と云って天台、真言の二派が護っていたが、その教義を巡って争いが起きた。結果、天台が負け、大先達の「宣澄（せんちよう）」法印（注3）が反対派に暗殺される事件が起きた。それから四、五十年経った頃、「即伝」という先達が宣澄の霊を慰めるため、その布教の方法として村人に踊りを教えた。これが宣澄踊りと

して周辺に伝わっていった。この踊りが、縁日の八月十六日にお寺で踊られると盆じやもの、秋祭りに踊られると鳥踊りと言われるようになったという。

大先達の宣澄法印の徳を偲ぶ集まりが、大正十年頃まで行われていたようである。しかし、その後先達となる人がいなくなり衰退したものと思われる。



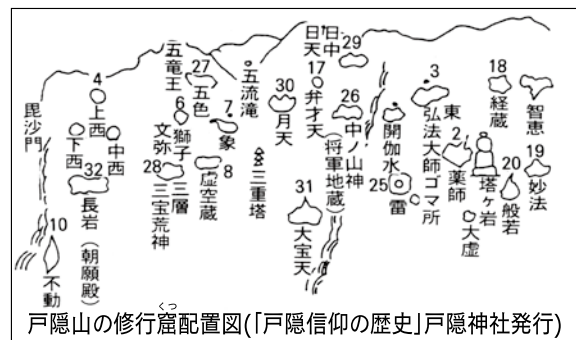
鳥踊り(長野県文化財保護研修会にて発表)



戸隠村中社での宣澄踊り(「鳥踊考」村杉弘著)



戸隠神社 宣澄社(令和元年ふるさと資料館友の会研修)



戸隠山の修行窟配置図(「戸隠信仰の歴史」戸隠神社発行)



西小路の満昌院に祀られる役行者尊像と八咫鳥

せんちようは、戸隠神社の大先達（注2）であった。その頃、戸隠神社は戸隠山顕光寺と云って天台、真言の二派が護っていたが、その教義を巡って争いが起きた。結果、天台が負け、大先達の「宣澄（せんちよう）」法印（注3）が反対派に暗殺される事件が起きた。それから四、五十年経った頃、「即伝」という先達が宣澄の霊を慰めるため、その布教の方法として村人に踊りを教えた。これが宣澄踊りと

して周辺に伝わっていった。この踊りが、縁日の八月十六日にお寺で踊られると盆じやもの、秋祭りに踊られると鳥踊りと言われるようになったという。

大先達の宣澄法印の徳を偲ぶ集まりが、大正十年頃まで行われていたようである。しかし、その後先達となる人がいなくなり衰退したものと思われる。

元文化財保護審議会会長

伊東明啓

この文章は20年程前、公民館報のために調査し書かれたものです。

案内看板についたクマの爪

跡は、かなり新しく感じましたが、大勢で参加しているので全く心配していませんでした。資料によりますと、

主曲輪(注1)の広さは27m×22mとなっています。これは、バレーボールのコート2面分より広く、木島平中学校の体育館ほどの広さがあります。尾根の上に、これだけの広さの平地を造る労力を想像すると、当時の人たちの努力に頭が下がります。村には、これより大きい山城も含め、他に3つもあるのですから、すこ



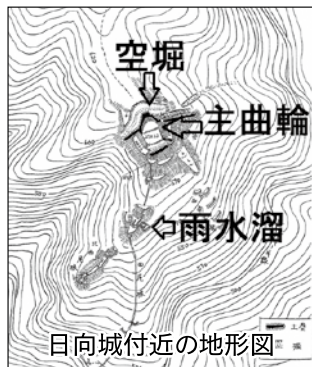
日向城の主曲輪にて

いことです。

当日、ふるさと資料館の樋口和雄館長は、次のように説明しました。

この城は、市川氏が使ったにしては規模が小さい。非常に時に立てこもったという説もある。規模の大きい平沢城の方が市川氏との結びつきが強いと想定するのが自然であろう。ここは見張りの場所と併せて、攻め込まれた時に計見村の人が逃げ込むために使った山城という推測ができる。戦国時代は半農半士で普段は農業をしていて、いざとなったら戦う人たちだった。百姓たちの立てこもりの場所だったとも考えられる。

これを聞いた参加者は、「この城から尾根伝いに平沢城に



日向城付近の地形図



雨水溜と呼ばれる場所にて

たどり着く。行き来があつたかもしれない」と話し合いながら、当時の人々の生活に思いを馳せていました。

図面にある雨水溜(あみずた)に行ってみました。犬飼城には井戸とも考えられる穴があり、ここにもそれに類する窪んだ地形がありました。長い時間が経っているので、堆積物が積み重なっています。ピンホールと呼ばれる杭を押し込んでみると50cmほど止まりました。そこから先は、粘土質のよう

で、水を溜めることはできたかもしれないという話でした。水は生活の必需品ですから、

犬飼城の井戸と呼ばれる穴にも水は溜めてあつた可能性があるのではと想像します。生活の知恵は、むしろ昔の人の方が優れていたのかもしれない

いとも思います。

山を下りて、市川勝房の墓碑(注2)を目指しました。西小路から下堰に沿って進み、森に入って谷筋を一つ抜けたところからわずかに下りた場所でした。お坊さんのお墓である丸い墓石がいくつも倒れていました。長い時間の中で自然に還る場面を見ているようです。その中に、市川勝房の墓碑がひっそりと立っていました。勝房は、この木島平村を治めた戦国武将・市川信房の子にあたります。

樋口館長の話では、この地は、勝房の建てた真宗寺跡(しんそうじ)だそう。そして、真宗寺と市川氏の居館(きょかん)は長い回廊でつながっていたという言い伝え



真宗寺跡にて



市川勝房墓碑

があります。しかし、残念ながら1700年頃の大規模な土砂災害で跡形もなく崩れてしまいました。更に、その後の圃場(ほしやう)整備などで、発掘による特定も困難な状況だそう。

樹間から、のどかに田んぼが広がる景色を見通すことができました。当時もそうだったのでしょうか。

私は、志久見古道、平沢城、日向城、そしてこの勝房の墓碑を巡りながら市川氏を学んできました。当初、栄村周辺の志久見郷を治めた市川氏が、少し身近になってきたような気がしました。

- 注1 削ったり埋めたりして造られた平地
- 注2 故人の名や没年月日を石碑に記したもの。参拝の対象となる。
- 注3 田畑をまとめた言葉



木島平村納涼絵画展 in くま 開催中！

水彩くらぶが中心になって運営される初めての展覧会が8月30日まで開催されています。水彩画はもちろん、日本画や写真など個人作品も展示されています。ご家族で、涼しい蔵の中に展示された作品を、心ゆくまでご堪能ください。

◇会場 中町展示館 ◇開館時間 午前10時から午後4時

◇休館日 8月30日(月)までの毎週火、木曜日



図書館だより

おすすめの一冊

木島平中学校 教頭 宮崎 隆

『かがみの孤城』

著：辻村深月

2018年本屋大賞受賞作です。いつか読もうと思いつきながら、読む機会を失っていましたが、木島平中学校の図書館で出逢い、これも何かの縁だと思い手にとりました。

学校での居場所をなくし、閉じこもっていた主人公の中学1年生の「ころ」の目の前で、ある日突然部屋の鏡が光り始める。輝く鏡をくぐり抜けた先にあったのは、城のような不思議な建物。そこにはちょうど「ころ」と似た境遇の7人が集められていた。なぜこの7人が、なぜこの場所に。現実世界での生活と、鏡の先の仮想世界での生活を通して、7人それぞれが抱えている問題に対して他人と交流し、ひとつずつ大人になっていく。また、親の子どもへの接し方の不器用さもうまく描かれています。それぞれの伏線が最後にすべてひとつになっていく後半は、ぐいぐい引き込まれていきます。この城での時間があつたからこそ、それぞれの今の生活があることまで想像させます。すべてが明らかになるとき、驚きとともに大きな感動にきっと包まれます。生きづらさを感じている人や、大人にも、子どもにもおすすめできる一冊です。読んでみてください。



☆新着図書☆

黒牢城 (米澤穂信) グッバイ・イエロー・ブリック・ロード (小路幸也) 魂手形 三島屋変調百物語七之続 (宮部みゆき)
小説 8050 (林真理子) 老いの福袋 (樋口恵子) 不安な時代に踏み出すための「だったらこうしてみたら？」(植松努)
光をえがく人 (一色さゆり) 声の在りか (寺地はるな) 面白いほど記憶に残る迷わない漢字 (話題の達人倶楽部)
変化する社会とともに歩む学校図書館 (野口武悟) この平和への願い 長野県開拓団の記録 (信濃毎日新聞社)
アースダイバー神社編 (中沢新一) 赤ちゃんと一緒に楽しむあそびアイデア BOOK (開一夫)

☆児童図書☆

いろいろかえる (きくちちき) 昆虫のおりがみ (川畑文昭) 千曲川はんらん (いぶき彰吾)
ねずみくんのピピピクニック (なかえよしを・上野紀子)

☆おしるせ☆

リサイクル雑誌を
無料で配布します

■日時：8月28日(土)、29日(日) 9:00~17:00
※なくなり次第終了
■場所：ちっちゃな図書館前の廊下
お持ち帰り用の袋はご持参ください。



きじま平再発見 ～木島平検定に挑戦しよう～ 解答編

問56 ③ 松尾芭蕉

この規模の村で、これだけの句碑があるのは珍しいことです。江戸時代の終わりごろの木島平村では、自分の雅号を持つ俳人が300人以上いて、滝見連や相生連といった仲間をつくり、俳句を楽しんでいたそうです。このことが、芭蕉の句碑を建てることにつながっていったと考えられます。(文化財ガイドブック「木島平村の奉納俳額」から)

④ 夢の跡 御魂に眠る 芭蕉句碑



問57 ① 鷹

木島平村の奥山には、鷹の巣があります。ここで繁殖するヒナは、武士が活躍した時代の贈答品や献上品とされていました。そのため、鷹の巣も大切に護られていました。部谷沢にある神社は、巣鷹八幡神社と呼ばれ鷹の繁殖を祈願したものと考えられます。

② 計見山の タカの巣守る やしろ建て



社協だより

No.331

さわやか笑顔さん



シルバー人材センター
仲條 由弘

デイサービスの送迎
を担当しています。
これからも安全運転
を心掛けます。

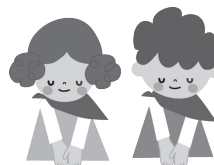
令和3年度社協会費及び日赤活動資金

ご協力ありがとうございました

村民の皆様にご協力いただきました社協会費及び日赤活動資金の総額をご報告します。(令和3年7月31日現在)

皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

今後も、地域に寄り添った活動を展開してまいります。



◆社協会費 1,512,000円／納入件数 1,260件

◇日赤活動資金 413,242円／納入件数 1,192件

(内訳：日赤会費37件、寄付金1,155件)

◆社協会費◆

～支えあい

安心して暮らせる村 木島平～

地域の暮らしを支える地域福祉事業の重要な財源として活用させていただきます。

なお、現在新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、活動が制限されていますが、感染予防を図りながら「今できること」に取り組めます。

今後の主な行事予定

- ・敬老訪問／9月20日
- ・第20回社会福祉大会／10月3日
- ・多世代交流事業
「このゆびと～まれ」／10月中旬
- ・重度障がい者希望の旅
「じょんのび」／11月上旬

◇日赤活動資金◇

～いのちを守る赤十字～

災害救護活動や救急法等の講習、奉仕団活動、看護師養成、国際活動などの日本赤十字社の活動は、皆様からお寄せいただく活動資金に支えられています。

なお、現在静岡県熱海市の土石流災害など各地に大きな被害をもたらした7月豪雨災害で被災された方々の支援を行っております。また、村内でも義援金を受け付けております。

日赤長野県支部の活動内容など詳細は、ホームページに掲載されていますのでご覧ください。

<https://www.jrc.or.jp/chapter/nagano/>

共にたすけあって生きていく福祉の心を育むため

「福祉について」の作品

追加 募集します

テーマ：しあわせ えがお たすけあい



テーマに沿った作品をお寄せください。ポスター、写真、絵手紙、俳句、川柳、標語などジャンルは問いません。応募いただいた作品は、社会福祉大会実行委員による審査を行い、入賞された作品は社会福祉大会にて表彰。賞品として村の商品券を贈呈させていただきます。締切は、8月31日(火)。お問い合わせは、社会福祉協議会（電話82-4888）まで。
たくさんのご応募をお待ちしています。

この社協だよりは共同募金の配分金で発行されています。



事業所紹介

デイサービス

デイサービスでは、その人らしく自宅での生活が送れるように、現在の心身機能を維持増進するための体操やレクリエーション等を提供させていただきます。

体操では、普段の生活動作に役立つ運動を取り入れ、より効果的なものになるよう取り組んでいます。

レクリエーションでは、体を動かしたり、頭を使った活動などに取り組んでいます。普段ご自宅ではできない事を楽しんでいただけるよう日々工夫をしています。

現在、畑やプランターを利用した園芸活動に力を入れています。下高井農林高校の園芸福祉コースの生徒と交流を交えながら野菜づくりを行い、今まで育んできた経験や知識を発揮していただく場も用意しています。



これからも村民の皆様親しんでいただける安心・安全なデイサービスとなるようスタッフ一同、努めてまいりますのでどうぞよろしくお願ひします。

お昼寝アート



ボランティア運営委員会では、子育て世代の人たちとのつながりを深める一環として、お昼寝アート制作に取り組んでいます。

今回のテーマは「七夕」です。かわいい織姫、ひこ星の衣装も用意しています。

ご興味のある方は、毎週木曜日に開催される“にこにこクラブ”へお越しください。



あたたかいご寄付を ありがとうございます。

お米 10kg、タオル類、着物、野菜、果物等のご寄付をいただきました。

社協の予定 8/10～9/30

8/10(火) ○安心買い物ツアー (対象：北部地区)

8/11(水) ○ふれあいランチ

8/12(木) ○安心買い物ツアー (対象：南部・中部地区)

8/25(水) ○ふれあいランチ

9/1(水) ○心配ごと相談 (相談員…調停委員・民生委員・人権擁護委員)

9/8(水) ○ふれあいランチ

9/15(水) ○無料法律相談 (相談員…天然寺法律事務所 齊藤善隆弁護士)

9/22(水) ○ふれあいランチ

新型コロナウイルスの影響により、予定を変更する場合があります。ご理解とご協力をお願い致します。

飯山地域 シルバー人材センター

除草ボランティア活動

7月8日、飯山地域シルバー人材センター木島平班の会員約20名で社会福祉協議会周辺の草刈り作業をご厚意により実施していただきました。

梅雨時期の大変な作業でしたが、おかげさまでとてもきれいになりました。

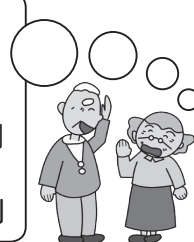
どうも、ありがとうございました。



つぶやきコーナー

歳を重ねるとって
こういうことだぞ…

- ・「立てば芍薬、座れば牡丹、歩く姿は百合のよう」
- ・「立てば疲れる…座れば眠る…歩く姿はまず見ない…」



人の動き

8月掲載承諾分

※氏名の一部に常用漢字を使用・敬称略で記載

こんにちは赤ちゃん

誕生日	集 落	氏 名	父・母
7.7	高 石	関谷 守晏 (和茂・清香)	
7.13	部谷沢	佐藤 希海 (堯・渚)	

ごめいふくをお祈りします

亡くなられた日	集 落	氏 名	年 齢
7.16	南 鴨	尾澤きわ子 (93)	
7.20	北 鴨	水澤 秀子 (97)	
7.21	内 山	土屋 郁雄 (86)	
7.29	市之割	棚原美恵子 (91)	

山田 菜南子ちゃん

平成 30 年 10 月 30 日生まれ
(千石区 / 勇氣さん・麻理子さん)



身体を動かすことが大好きで、アニメを見ながら楽しく歌って踊る菜南子ちゃん。一人でトイレに行けるように練習をがんばっています。

2歳くらいのお子さんを大募集！
ご応募されたご家庭には、DVDまたはBlue-rayDiscのどちらか1枚と広報誌3冊をプレゼントします。
詳しくは政策情報係(内線114)までご連絡ください！

広報・村公式ウェブサイトの広告募集中

広報きじま平、村公式ウェブサイトへ掲載する広告を随時募集しています。

詳しくは政策情報係までお問合せください。

～暮らしに役立つ広告をお待ちしています～

世帯と人口

8月1日現在
(平成27年国勢調査に基づく推計値)



1,571 (±0)



2,045 (±0)



2,183 (±0)



4,228 (±0)

楽しみを見つけよう

村長ひとこと(72)

予想以上と言えは失礼かもしれませんが、東京オリンピックで日本人選手が活躍し、盛り上がりつつあります。残念ながら新型コロナウイルスの感染も盛り上がり、複雑な心境ですが、落ち込みがちな気持ちを盛り上げてくれているのは確かです。

そして、お盆の時期になりました。昨年は「来年のお盆には」という気持ちもありましたが、昨年同様感染拡大の最中となり、帰省した家族と先祖の霊を供養し、旧友と盃を交わし、家族で旅行する、そんな今までのお盆が奪われてしまいました。

しかし、暗いことばかり考えているとなおさら気が滅入ります。村内では高齢者の接種が7月中旬に終了し、若い皆さんへの接種も始まっています。報道では、高齢の感染者が減り、重症化率も下がるなどワクチン接種の効果が出てきているということです。治療薬の治験も始まります。海外では、新型コロナウイルスをインフルエンザと同様に扱う政策が始まっています。新型コロナウイルスは完全に収束することなく、インフルエンザのように定期的にワクチン接種をし、治療薬で抑えることになるのかもしれませんが。しかし、いずれは普通の生活を取り戻せます。

暗い話ばかりでなく、明るい話題で盛り上がりたいたいものです。例えば夏の甲子園の開催決定もその一つです。思い返せば2年前、飯山高校が甲子園に初出場し、地域全体が盛り上がりしました。今年は観客を制限してとはいえ、テレビ観戦という楽しみが一つ戻ってきました。我慢に自粛、そんな生活の中でも楽しみを見つけ出すことは励みになります。

木島平村長 日臺 正博



きじま平

◆令和3年 8月10日 (毎月1回発行)

◆有限会社 高錦堂印刷所

◆発行/木島平村 〒389-2392 長野県下高井郡木島平村大字往郷 914 番地 6 ☎0269 (82) 3111

木島平村公式ウェブサイト 自然劇場きじま平 <http://www.vill.kijimadaira.lg.jp/>